

【質問3】小学校・公募外異動教員

※ 職層及び年齢は、赴任時のものです。また、各職層の養護教諭を含みます。

町村名	職層	性別	年齢	【質問】	【質問】
大島町	教諭	男	30代	<p>島や島の学校の魅力はどんな点にあると感じていますか。また、島の学校に赴任して、感動したこと、学んだこと、嬉しかったことはありますか。</p> <p>子供を自然の中でたくさん遊ばせる機会があります。ショッピングモールやゲームセンターがないのも魅力です。</p> <p>地域の行事に参加させていただく機会を得て、その伝統を少し教わりました。関わられることをうれしく思いました。</p> <p>運動会の準備にたくさんの方がかかわって下さること、引率のお願いを快く引き受けてくださること等、保護者の方が協力的であると感じます。やる気をもっていると感じます。</p>	<p>島の学校の課題は、どんな点にあると感じていますか。また、島の学校に赴任して、苦労したこと、残念に感じたことはありますか。</p> <p>教員の入れ替わりが速い。共通の認識をもって取り組めないことがある。</p> <p>受け持ったクラスにもよることなのですが、提出物がそろわないことがあり苦労しました。</p>
大島町	教諭	女	20代	<p>海も山もそばにあり、前もって予定を立てて遠距離を移動することなく、その日の気分ですらっとシュノーケリングに行ったり、バーベキューをしたりすることができる環境が、とても魅力的です。</p> <p>また、小さい子供を育てる面では特に、島は過ごしやすさを感じます。車を使うことが当たり前前の生活は、赤ちゃん連れの移動にとっても楽ですし、幼児や小学生にとっても、海や山など自然の中で遊び、すぐに自宅に戻ることでできる生活は、親子ともに負担なく楽しむことができます。地域の子供たちが、学年を越えて仲良く関わり遊んでいる姿も、我が子にとってとてもありがたいと感じます。長期休暇などに内地に戻ると、電車での移動や人ごみに疲れ、島での生活が子育て時期にはどれほど好環境であるのかを思い知ります。</p> <p>自然な異学年交流に、よさを感じています。きょうだいのたくさんいる児童も多いので、上手に小さい子の相手をできる児童が多いように思います。また、小規模校では学校全体が大家族であるような温かなまとまりを感じることもあり、魅力だと思います。</p> <p>長期間勤務していると、卒業後の姿も間近で見ることができることも、勉強になると感じています。中学生、高校生になっていく卒業生と地域の中で日常的に出会うことで、小学校にいる期間だけでなく、幼児から大人になっていくまでを見通すような視点をもてるようになった気がします。</p> <p>また、住宅等の関係で、他校の教員と関わりをもつ機会も多く、校種を越えて様々な情報交換を行うことができることも、勉強になっています。</p>	<p>島内の高校に100%入学できてしまうことなどから、地域の学力向上への意識が高くなく、子供たちの学力にもそのまま影響していることが最大の課題だと感じます。学習塾などもほとんどないので、学力向上のために、学校の果たすべき役割が、とても大きく重要だと思います。</p> <p>教材研究などの面で、気軽に書店等に立ち寄りたり、実物を見に行ったり、ということができないことに、難しさを感じます。研修等への参加では優遇されている面もありますが、やはり午後だけの研修に参加するためにも1泊し、1日以上勤務校を離れなければならないなどの都合上、断念することもあります。</p>
大島町	教諭	女	20代	<p>・都会にはない島ならではの自然や生活を、仕事に従事しながら体験することができる。</p> <p>・島に赴任して、授業準備や教材研究にしっかり時間をかけられるようになった。また、子どもたちが素直なので、自分のやりたいことにたくさんチャレンジでき、教員としての資質の向上が期待できる。</p> <p>・子どもたちのすれていない、まっすぐな性格に感動した。</p> <p>・学校外で児童や保護者に会うことが多々あり、そのたびにあいさつしたり交流したりできて嬉しい。</p>	<p>・特に専科教員は公募による赴任ではないことが多く、島の学校に赴任することに対するイメージが良くない場合がある。赴任しなければわからないこともあるが、悪いイメージや想像が先行している人もいると思うので、もっと島の学校の魅力を島外に発信していく必要がある。</p> <p>・休日の学校行事や地域行事が、島外より強制的に感じる。3連休の中日に児童引率の行事があったり、8月の月上旬まで地域行事で島外に出られない事情があったりすることが残念。</p>

【質問3】小学校・公募外異動教員

※ 職層及び年齢は、赴任時のものです。また、各職層の養護教諭を含みます。

町村名	職層	性別	年齢	【質問】 島や島の学校の魅力はどんな点にあると感じていますか。また、島の学校に赴任して、感動したこと、学んだこと、嬉しかったことはありますか。	【質問】 島の学校の課題は、どんな点にあると感じていますか。また、島の学校に赴任して、苦勞したこと、残念に感じたことはありますか。
利島村	主幹	男	30代	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々から、温かい声をかけていただいたりして安心している。 ・生活の知恵など教えてもらえて、島なりの充実した生活を送れている。 ・つりや山登りなど、レジャーとして楽しめている。 ・島民が親切であること。生活全般において心配をしてくれてありがたい。 ・太鼓など、島の文化に触れることができている。発表会に向けてともに目標を共通にもって楽しく取り組める。 ・子どもが素直で我慢強い。努力した分だけ子どもたちに達成感があるときには、その喜びを共有できる。 ・中学校の教員とともに勤務し、小中連携における課題が解決したときに喜びを感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報が少ない。また、研修会など他校の同じ教科を研究する仲間がでづらいこと。 ・設備面で整わないことがある。今ある教材で授業を実践しなければならない。 ・地域の文化や生活を理解するまでに時間がかかる。「東京の学校では・・・」という話をすると子どもが傷ついてしまう。 ・学力をつけなければいけないというプレッシャーが強い。塾や習い事の機会が少ないため、保護者の教員に対する要望が高い。
新島村	教諭	男	30代	<ul style="list-style-type: none"> ・地域教材が豊富 ・島独自の教育と一般的な教育の結び付きが少し難しい。 ・海で泳ぐ練習、地域での教育等、島で住むための教育スキルをしっかり学ぶところがよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・内地の学校と平等な教育を受けさせたい。 ・教材が届かない。遅い。 ・行事が多く、学習が進まない。
神津島村	教諭	女	20代	<ul style="list-style-type: none"> ・美しい海や山 ・島の資源を生かした単元や題材ができる。 ・マリンスポーツ ・地域行事が多い。 ・海の幸 ・児童同士、教職員が全児童のことをよく知っている。 ・教職員のチームワークの良さ ・不便であるが、ないならないで工夫して何とか教材準備をする。 ・子供が大切にされている。 ・スポーツが盛んである。 ・島中の大人達が子供を見てくれている。(屋号を言えば、誰だかわかる。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童に自信を持たせる。 ・生の音楽に触れる機会が少ない。(演奏家を頻繁に呼ぶことができない。) ・自然体験はとてよくできるが、職業体験等の経験が少ない。 ・学校での学習が児童に直接反映する。 ・特設クラブの予算確保 ・欲しい情報やすぐに使いたい教材等をすぐに手に入れられない。 ・定期的な研修への参加がしにくい。